

JCNE助成金活用セミナー

「徹底解説！助成金の見つけ方」

【公開用ダイジェスト版】

（一財）非営利組織評価センター 山田泰久

Twitter : @canpan2009

<http://www.facebook.com/yamadamay>

2022年5月Ver.01

プロフィール：山田泰久（やまだやすひさ）

一般財団法人非営利組織評価センター 業務執行理事

寄付月間 推進委員会委員／共同事務局事務局長

一般社団法人全国コミュニティ財団協会 監事

イシス編集学校（松岡正剛氏主宰） 師範代

群馬県高崎市出身、慶應義塾大学文学部卒（フランス文学専攻）。

1996年日本財団に入会。2009年から公益コミュニティサイト「CANPAN」の担当になり、NPO×情報発信、助成金、IT活用、寄付をテーマに様々なNPO支援の活動に取り組む。

2016年4月、（一財）非営利組織評価センター（JCNE）の設立とともに、業務執行理事に就任し、非営利組織の組織評価・認証制度の普及にも取り組んでいる。

twitter: @canpan2009

Facebook <http://www.facebook.com/yamadamay>

note <https://note.com/yasuhisayamada>

CANPAN講座 <http://blog.canpan.info/c-koza/>

JCNE・NPOフォーラム <http://blog.canpan.info/cpforum/>

情報発信のこともやっています。

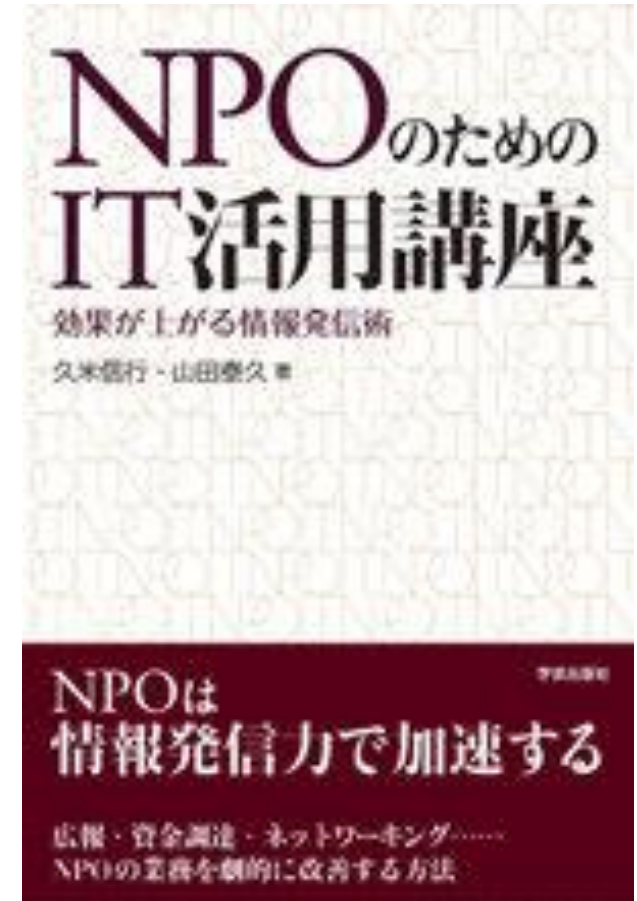
セミナーだけでは伝えきれないことを本にまとめました。

NPOのためのIT活用講座
～効果が上がる情報発信術
久米 信行 著 山田 泰久 著
学芸出版社
四六判・224頁・定価 本体1800円＋税



■■ 内容紹介 ■■

「お金が足りない」「忙しい」「どんな情報を発信していいかわからない」…そんなアナタに、無駄な手間とコストをかけず、個人・団体としての活用を使い分け、広報、資金調達、マーケティング、キーパーソンとのネットワーキングなど、NPOの業務に劇的な効果をもたらす方法を、二人の達人が豊富な事例をもとにお伝えします。



非営利組織評価センター（JCNE）

2016年4月1日、全国の非営利組織の評価を行うことで信頼できる組織の情報を広く社会に発信し、支援環境の充実に寄与するために非営利組織評価センター（JCNE）を設立しました。

チャリティの歴史が長い諸外国では、第三者である評価機関が寄付等を受けて活動する団体の運営状況を評価認証し、結果を公開しています。日本でも同様の非営利組織の評価が必要な時期になりました。

この非営利組織評価センターは民間セクターの手で作りたいという願いから、多くの団体に設立のご支援をいただきました。株式会社をはじめ助成財団、NPO、一般法人といった多様な設立発起人からのご出捐。そして賛同パートナーである助成財団からの応援を得ています。さらに5年後の自立を目指し事業運営には日本財団の助成をいただいています。

組織マネジメントに関する第三者評価



グッドガバナンス認証

JCNEの独自の評価基準に基づき、専門の評価員が団体を訪問し、ヒアリングや書類確認によって組織運営の状況进行评估しています。その評価結果をもとに、非営利組織の中でも組織運営やガバナンスが一定水準以上のレベルの団体を認証しています。グッドガバナンス認証団体は外からは見えにくい組織内部の状況を第三者機関に開示して、信頼性・透明性の向上に努めている団体です。また、課題がある場合も見直し、改善をしていく姿勢や意欲のある団体でもあります。寄付をしたい、ボランティアとして参加したいという市民や企業の方が、期待をかけて支援ができる団体として紹介しているのが「グッドガバナンス認証団体」です。

https://jcne.or.jp/evaluation/good_governance/



グッドガバナンス認証

ベーシックガバナンスチェック

JCNEの独自の評価基準に基づき、団体運営の基本についてセルフチェックと提出書類をもとに簡易的に評価をしています。評価結果は「ベーシックガバナンスチェックリスト」で公開され、随時更新されます。継続的に第三者評価を受け、情報開示に積極的な透明性の高い団体として、JCNEは掲載団体への支援を推奨しています。

ベーシック評価基準23項目に基づく簡易的な組織評価です。

<https://jcne.or.jp/evaluation/outline/>

欲しい未来へ、 寄付を贈ろう。

欲しい未来へ、寄付を贈ろう。



一年の終わりに、考えたいのは未来のこと。

もっと楽しい未来。もっと優しい未来。

もっと平和な未来。もっと多様性が認められる未来。

そんな未来を手にするために、あなたの気持ちを寄付にしよう。

寄付は意思、寄付は投資、寄付は応援、寄付は願い。

寄付で未来は変えられるのです。

だから、「Giving December」。

一年の終わりに、未来を考え寄付をする。

そんな習慣を、はじめたいと思います。

欲しい未来を叶えてくれるさまざまな取り組みに、

あなたの想いを託しましょう。

さあ、年の終わりに、新しい「寄付」がはじまります。

欲しい未来へ、寄付を贈ろう。



寄付月間～Giving December～について

寄付月間とは

寄付の受け手側が寄付者に感謝し、また寄付者への報告内容を改善するきっかけとなり、そして多くの人が寄付の大切さと役割について考えることや、寄付に関心をよせ、行動をするきっかけともなる月間を制定する。

推進委員会

委員長 小宮山宏 三菱総研理事長/元東京大学総長

共同事務局長 山田泰久 一般財団法人非営利組織評価センター 業務執行理事

民間非営利組織、企業、行政、国際機関などで寄付に関連する取り組みをしている全国代表的な機関の代表者が集まり、35名の推進委員会を構成 各法人の有志による共同事務局を設置して、寄付月間の統一ロゴ作成や各方面との連携による全国的周知による啓発活動、イベント開催や賛同パートナー（無料）の拡大などを行います

その他

・社会課題の解決のための寄付の促進が本委員会の設立の背景にあるが、寄付の定義は、寄付者個々人によって違いがあり、多様性を許容する観点から、寄付の定義について委員会としては明確な排他性をもたない。

・本委員会、寄付月間参加は、各主体の自発性に基づくものであり、何ら強制的な要素を含まない。また、特定団体や特定課題への寄付を要請するものではなく、委員会としての政策提言を目指すものではない。



いますぐ体験！



編集力チェック 無料

編集力とはどんなもの？ イシス編集学校の稽古を無料で体験できます。ウェブから申し込むと「お題」がメールで送られてきて、回答を返信すると、師範代から指南コメントが届きます。

▶ <http://es.isis.ne.jp/web.html>



ISISエディットツアー

ブックサロンスペース「本楼」ほかユニークな書棚空間を巡りながら、編集的な体験を楽しむツアーです。映像や座談、ワークショップを交え、アタマもココロもやわらかくする2時間のプログラムで、「編集」のエッセンスを体感。イシス編集学校の編集稽古も体験できます。

● 毎月開催、日程限定。 ● Ticket: 1,500円(税別)

▶ <http://es.isis.ne.jp/edittour.html>



詳しくはイシス編集学校ウェブサイトをご覧ください。 <http://es.isis.ne.jp>

資料請求・お問合せ・お申込は

イシス編集学校 学林局

front_es@eel.co.jp

よい団体とは、
よい活動とよい情報発信を
している団体である。

助成金も同じ

①NPOセクターの立場で

→より多くのNPOが情報発信することで、
NPOセクター全体の信頼度をアップする

②市民の立場で

→専門的な情報を必要としている人に情報を届ける
→自ら情報発信できない人に代わって発信する

③団体の立場で

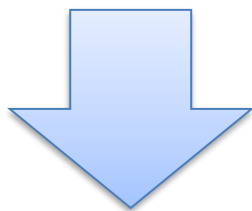
→団体や活動を持続的にするための資源を獲得する

なぜ、NPOは情報発信するのか？

そもそも、NPOやその活動は外から見てわからない存在である。

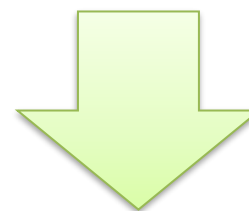
NPOの活動は、現場にいないとわからない。

活動の可視化



活動中の感動を

活動の価値化



価値にして伝える

本日も話すること

NPOが活用できる助成プログラムは何件くらいあるのでしょうか？

ざっくりとした数字ですが、全国規模のもので300～350件、都道府県域の地域限定のもので30～50件、350～400件程度の助成プログラムがあります。今回は、そんな助成金の情報の入手の仕方、調べ方、見つけ方を徹底解説します。

さらに、団体や事業を成長させるための助成金の活用という観点から、助成金の見つけ方をお伝えいたします。助成金を活用することで、どのように組織基盤強化につなげていくことができるのかを学ぶことができます。

第1部：助成金に関する講義（40分）

第2部：ベーシックガバナンスチェックのご案内（10分）

第3部：質疑応答

お話しをする前に・・・①

助成金に関する基礎知識は、以下のページの掲載資料参照

<http://blog.canpan.info/c-koza/archive/517>



【基本】初級～上級

1. 助成金の全体像を把握する

助成金の活用2014_セミナー資料_基礎編.pdf

2. 助成金というものがどういうものか、その基本を知る

助成金セミナー基礎編_日本財団荻上.pdf

3. 助成金申請から事業報告まで、助成金に関する一連の流れとやることを学ぶ

助成金活用マニュアル_日本財団荻上.pdf

【応用】中級～上級

4. 助成金を活用するという視点で、あらためて助成金の可能性について学ぶ

助成金の活用2017_セミナー資料.pdf

5. その他、申請から事業実施まで、助成金について参考なると情報を知る。

助成金の活用2014_参考資料.pdf

お話しをする前に・・・②

助成金について学ぶために参考になるサイトや資料など

1. (独法)福利医療機構 WAM助成

<https://www.wam.go.jp/hp/cat/wamjosei/>

助成金に関するノウハウ集や事業評価報告書など参考になる資料が豊富

2. あいちモリコロ基金の調査・評価(基金の運営&助成活動の成果)

https://www.morikorokikin.jp/7_chosa/chosa.html

10年間の助成プログラムの総括報告書が助成金の考え方を学ぶのに最適

3. IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]

ソシオ・マネジメント第4号「成果を最適化するための助成プログラムのコミュニケーション調査」

NPOマネジメント(バックナンバー)

<http://blog.canpan.info/npomanagement/>

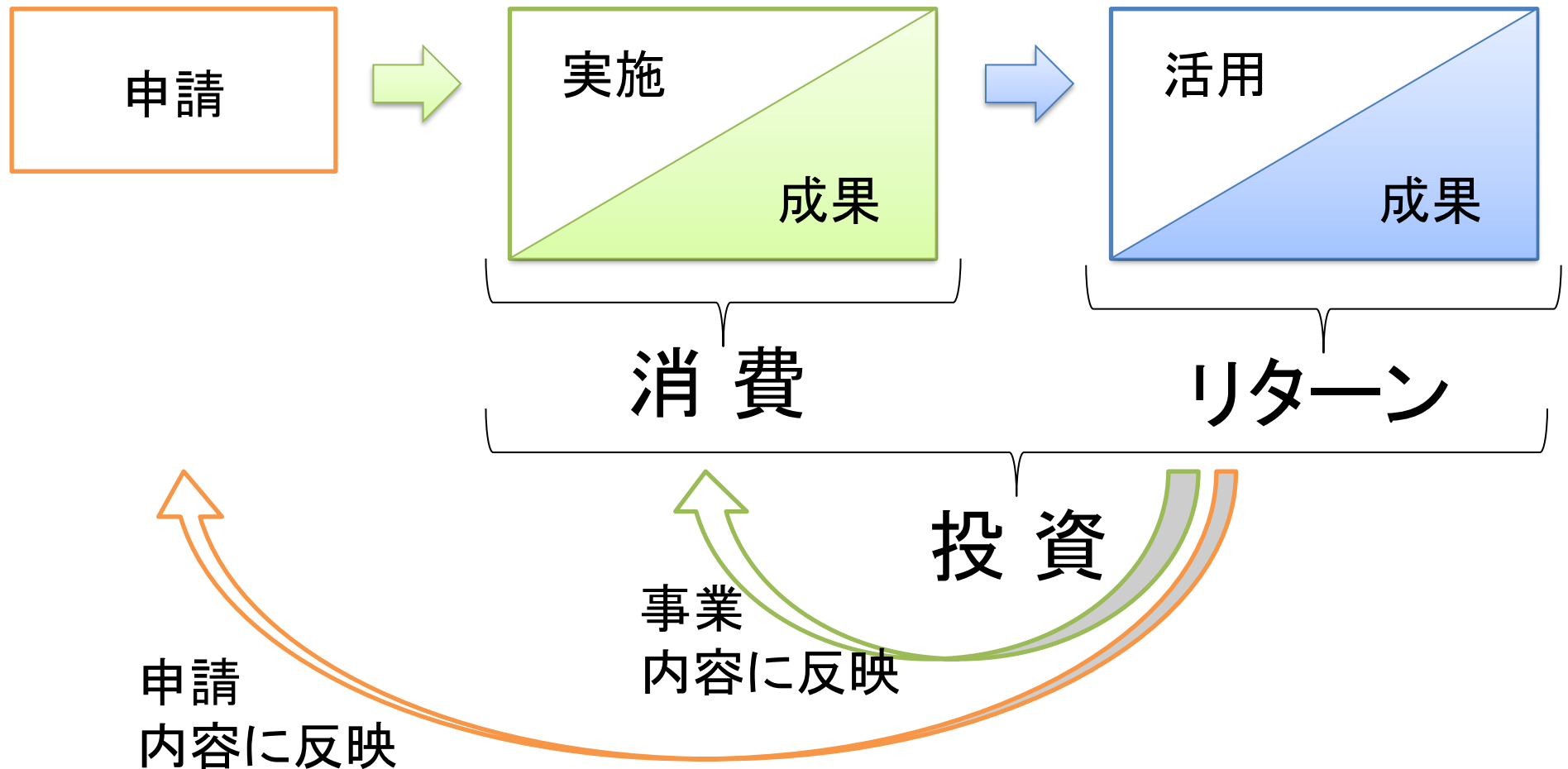
ソシオ・マネジメントは助成財団向けの内容だが、助成金をさらに詳しく学びたい方にお薦め。

徹底解説！助成金の見つけ方

- ・助成金の基本
- ・助成金と補助金という言葉
- ・全国募集と地域募集
- ・データベースや情報サイトで調べる
- ・よくチェックしているサイト、メルマガ
- ・類似団体の実績を調べる
- ・休眠預金を調べる
- ・社員推薦の支援プログラムを調べる
- ・地域募集を調べる
- ・新しい助成プログラムの流れ
- ・気になる助成プログラムを見つけたら
- ・助成金カレンダーのススメ

助成金の活用

社会課題の解決の一助になることと、持続的に事業や組織を発展させていくことを目指して、助成金＋様々なリソースを投入すること



NPOの資金調達

事業内容によって適している資金調達がある

- ①今の活動にフォーカスして集める寄付
- ②今後の発展を計画して申請する助成金
 - ・助成金があるうちに継続できる体制、ビジネスモデルを構築する
 - ・助成金で試してみる(仮説検証をして、成果を生み出し、実績を作る)

継続性資金

自治体等の制度的な補助金や、企業や個人の寄付等

受益者数や地域の変化などの成果が目標

成果を出し続けることで、継続的な支援が得やすいお金

単発性資金

民間の助成金や省庁の補助金、クラウドファンディング等

仕組みやハード、モデル事業などの「残るもの」が目標

よい成果を出しても、性質上、継続的な支援が得にくいお金

クイズ：寄付と助成金

あるプロジェクトの活動資金として、100万円がほしい。

あなたの団体はどの方法で資金調達したいですか？

A. 100名の市民から、一人1万円の寄付で計100万円

B. 助成金で100万円

外部の資金源の付加価値

信頼の付加価値

→「誰からもらっているか」という評判・信頼

ネットワークの付加価値

→資金源が持っているネットワークを活用できる

事業づくりの付加価値

→資金源が持っているノウハウを提供してもらえる

事業後の付加価値

→成果を上げることで団体の実績になる

→関係が構築される

助成金の付加価値

信頼の付加価値

→助成機関からもらっていることによる信頼度向上、実績作り

ネットワークの付加価値

→助成機関が持っている活動分野間のネットワーク

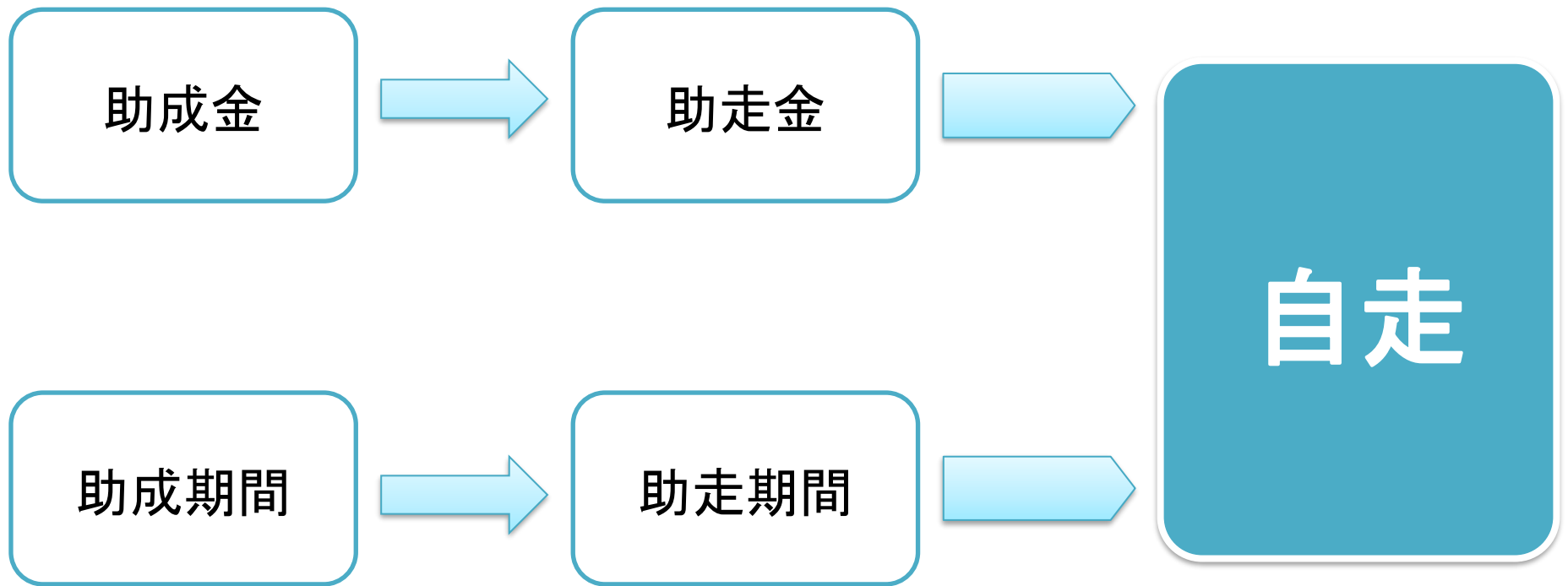
事業づくりの付加価値

→助成プログラムを通じて助成機関に蓄積された、持続的で波及性のある事業づくりのノウハウや視点

事業後の付加価値

→成果を上げ報告することで、団体のことをさらに詳しく知ってもらい、その成果を代わりに宣伝してもらえる

助成金のイメージ・チェンジ



助走というプロセスで「力」を蓄え、大きくジャンプ(成果)する。
その後も自走できる実力をつける。

助成金と補助金

	国・自治体	民間助成財団や企業
提案と審査	補助金 業務委託	助成金 寄付金扱い
要件クリア	助成金	

★ネットで「助成金」を検索すると、国・自治体の助成金の情報がヒットする。

自治体による補助金

例：高齢者の福祉サービスを提供しているNPO

【補助金】

行政上の目的のために、団体の不足分を補い助けるお金

→行政上の目的を理解することが大事

①高齢福祉課による補助金【受益者：高齢者】

→地域の高齢者の福祉がどれだけ向上するか？

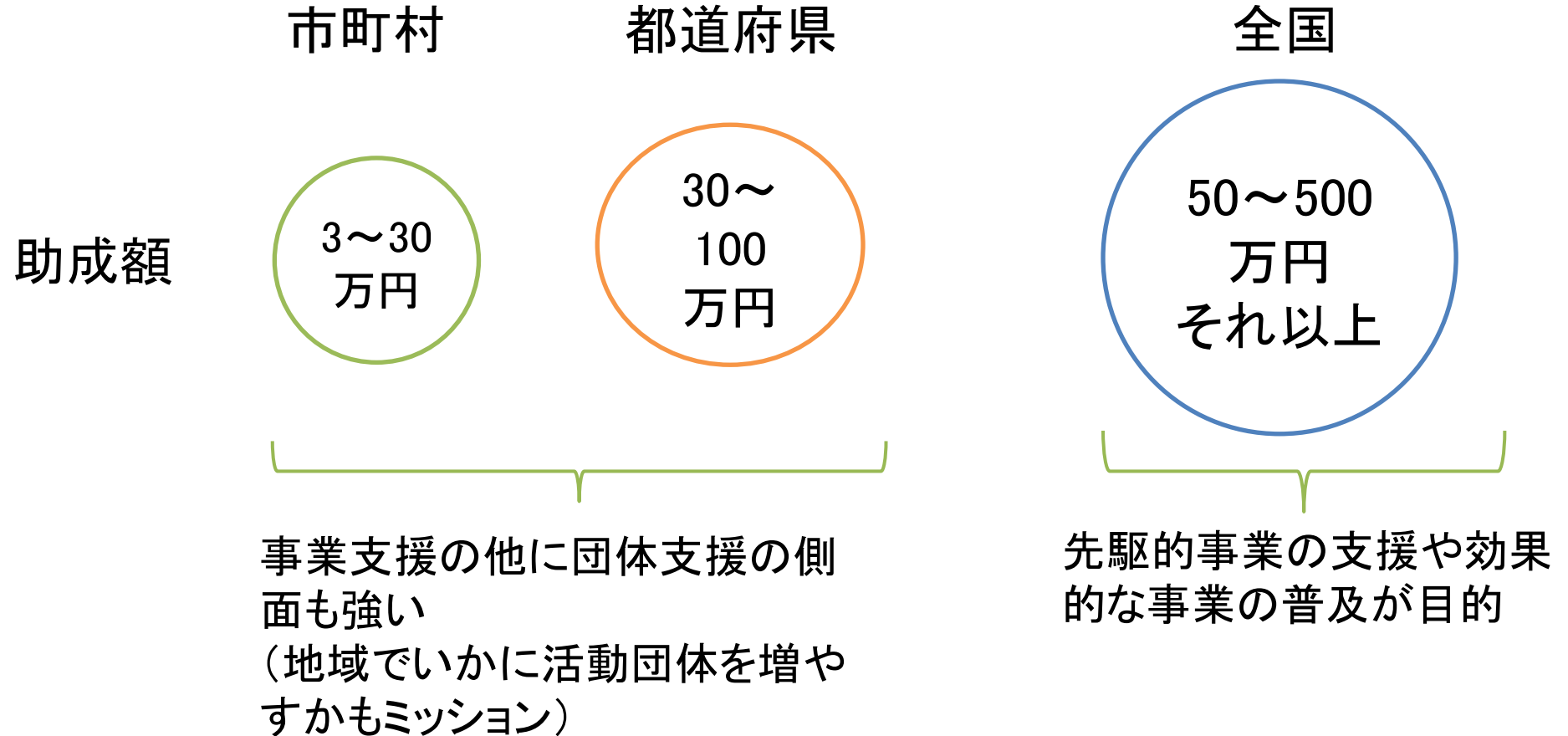
②街づくり課による補助金【受益者：地域住民】

→地域の活性化や住みやすい街づくりにどれだけ寄与するか？

③市民協働課による補助金【受益者：市民活動団体】

→市民活動や市民活動団体がどれだけ増えるか？活性化するか？

全国募集と地域募集



★助成プログラムのほとんどがNPO法人も申請可
任意団体はざっくり8割申請可

地域限定と全国規模の助成金

地域限定

行政・制度

自治体

外郭団体
(財団法人)

社会福祉
協議会

赤い羽根
共同募金

民間

地方企業
金融機関

財団法人
公益信託

コミュニティ
財団

休眠預金

全国規模

省庁

独立行政
法人

補助事業
事務局

助成財団

企業

助成金額： 3万円～100万円

50万円～300万円

助成金の情報収集

①データベースから使える助成プログラムを調べる

- ・助成財団センター 助成情報navi(2022年5月時点 準備中)

<https://jyosei-navi.jfc.or.jp/>

- ・東京ボランティアセンター

<https://www.tvac.or.jp/sagasu/?cat=joseikin>

【注意】データベースによっては、募集中の情報しか掲載されていないケースも

検索サイト: JIMI-Lab 市民活動助成金情報まとめ(Excelリスト)

- ・Excel形式でダウンロード
- ・すでに募集を締め切った助成プログラムの情報も掲載
- ・年間を通じてどんな助成金があるかを調べることができる。

URL : <https://www.jimi-lab.net/post/joseikin>

②お薦めのメルマガ

NPO法人セイエン(旧・シーズ・市民活動を支える制度をつくる会)

<https://www.npoweb.jp/>

<https://www.npoweb.jp/topics/malimagazine/>

助成金の情報収集

③地域のNPOセンターで情報収集

- ・地域限定の助成プログラムを調べる
- ・HPで調べる
- ・センターに行って調べる
- ・センターに相談に行く

④類似団体の事業報告書と決算からもらっている助成プログラムを調べる

⑤休眠預金を調べる（一財）日本民間公益活動連携機構（JANPIA）

<https://www.janpia.or.jp/>

⑥社員推薦の支援プログラムを調べる

- ・会員や利用者に聞いてみる

⑦賞金付きの表彰制度を調べる

⑧有料のデータベース

例：みんなの助成金（月額1,000円）

<https://www.minnano-joseikin.com>

気になる助成プログラムを見つけたら

- ①自団体で使えそうな助成プログラムを30個程度ピックアップする。
- ②助成金カレンダーを作成する。
 - ・プログラム名 ・団体名 ・募集期間 ・告知開始時期
 - ・申請上限額 ・人件費の有無 ・間接費の有無 ・支払時期
 - ・分野 ・事業形態
- ③30個ピックアップのうち、助成プログラム10個の募集要項を読む。
- ④助成プログラムの感覚をつかむ。

助成金とは・・・

樹木は育成することのない
無数の芽を生み、
根をはり、枝や葉を拡げて
個体と種の保存にはあまりあるほどの
養分を吸収する。

樹木は、この溢れんばかりのの過剰を
使うことも、享受することもなく自然に還すが
動物はこの溢れる養分を、自由に
嬉々としたみずからの運動に使用する。

このように自然は、その初源からの生命の
無限の展開にむけての秩序を奏でている。

物質としての束縛を少しずつ断ちきり、
やがて自らの姿を自由に変えていくのである。

**“デンマーク王子アウグステンブルク公にあてた
美学的なことに関する書簡第27号より一部を抜粋”
フリードリヒ・フォン・シラー**



横浜／ランドマークタワー